



2018年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年10月24日

上場取引所 東

上場会社名 花王株式会社

コード番号 4452 URL www.kao.com/jp/

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 澤田 道隆

問合せ先責任者 (役職名) 会計財務部門 管理部長 (氏名) 牧野 秀生 TEL 03-3660-7111

四半期報告書提出予定日 2018年11月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2018年12月期第3四半期の連結業績（2018年1月1日～2018年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第3四半期	1,097,809	1.6	142,187	3.2	141,893	3.3	100,606	3.5	99,436	3.1	97,286	△5.2
2017年12月期第3四半期	1,080,250	2.4	137,791	5.0	137,362	8.2	97,222	11.6	96,423	11.7	102,649	158.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第3四半期	202.97	202.87
2017年12月期第3四半期	195.64	195.50

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期第3四半期	1,384,016	809,463	796,502	57.6	1,636.74
2017年12月期	1,427,375	819,364	806,381	56.5	1,636.41

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	-	54.00	-	56.00	110.00
2018年12月期	-	60.00	-	-	-
2018年12月期（予想）	-	-	-	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2018年12月期の連結業績予想（2018年1月1日～2018年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,540,000	3.4	215,000	5.0	215,000	5.2	152,000	3.4	312.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名） 、除外 1社（社名）花王カスタマーマーケティング(株)

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】15ページの「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（7）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年12月期3Q	488,700,000株	2017年12月期	495,000,000株
② 期末自己株式数	2018年12月期3Q	2,059,505株	2017年12月期	2,225,561株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年12月期3Q	489,911,868株	2017年12月期3Q	492,854,195株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】5ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する概要	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(7) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	15
(8) 継続企業の前提に関する注記	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する概要

注：以下、() 付きの数字はマイナス表示であり、「実質」とは為替変動の影響を除く増減率を表示しています。

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	税引前 四半期 利益 (億円)	四半期 利益 (億円)	親会社の 所有者に帰属する 四半期利益 (億円)	基本的 1株当たり 四半期利益 (円)
2018年12月期 第3四半期累計期間	10,978	1,422	13.0	1,419	1,006	994	202.97
2017年12月期 第3四半期累計期間	10,802	1,378	12.8	1,374	972	964	195.64
増減率	1.6% 実質1.4%	3.2%	-	3.3%	3.5%	3.1%	3.7%

当社グループの主要市場である日本のトイレタリー（化粧品を除くコンシューマープロダクツ）及び化粧品市場は、小売店の販売実績や消費者購入調査データによると、2018年1月から9月において、堅調に推移しました。いずれの市場も、Eコマースチャネルの構成がさらに高まり、インバウンド需要も伸長しました。またトイレタリー商品の平均単価は、前年同期に対して2ポイント上昇しました。

このような中、当社グループは、花王グループ中期経営計画「K20」の目標達成のために、将来に向けた積極的な投資を行い、消費者の価値観の多様化や流通構造の変化に対応したマーケティング・販売活動の強化に全力で取り組んでいます。

売上高は、前年同期に対して1.6%増の1兆978億円（実質1.4%増）となりました。**営業利益**は1,422億円（対前年同期44億円増）となり、**税引前四半期利益**は1,419億円（対前年同期45億円増）となりました。**四半期利益**は1,006億円（対前年同期34億円増）となりました。

なお、2018年4月27日開催の取締役会において、資本効率の向上と株主への一層の利益還元のため、自己株式の取得を決議し、総額500億円の自己株式を取得しました。また、9月14日に自己株式の消却630万株を実施しました。

当第3四半期の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替の換算レートは、次のとおりです。

	第1四半期 1-3月	第2四半期 4-6月	第3四半期 7-9月
米ドル	108.44円[113.71円]	109.08円[111.13円]	111.44円[110.97円]
ユーロ	133.23円[121.13円]	130.09円[122.28円]	129.62円[130.35円]
中国元	17.04円[16.50円]	17.11円[16.19円]	16.39円[16.63円]

注：[]内は前年同期の換算レート

〔セグメント別の概況〕

第1四半期より以下の変更を行っています（参照P.13（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 1.セグメント情報）。

- ビューティケア事業を化粧品事業とスキンケア・ヘアケア事業に区分し、従来4区分としていた報告セグメントを5区分に変更しています。
- 従来、スキンケア・ヘアケア製品に分類していた乾燥性敏感肌ケア「キュレル」を化粧品事業に、ヒューマンヘルスケア事業に分類していたメンズプロダクツ「サクセス」をスキンケア・ヘアケア事業に組み入れたことにより、前年同期の売上高及び営業利益を組み替えて表示しています。
- 日本のコンシューマープロダクツ事業の販売組織を再編したため、前年同期の営業利益を組み替えて表示しています。

セグメントの業績

	売上高				営業利益				増減 (億円)
	第3四半期累計期間		増減率		第3四半期累計期間				
	2017年 12月期 (億円)	2018年 12月期 (億円)	(%)	実質 (%)	2017年 12月期		2018年 12月期		
					(億円)	利益率 (%)	(億円)	利益率 (%)	
化粧品事業	1,852	1,938	4.6	4.2	3	0.2	117	6.0	114
スキンケア・ヘアケア事業	2,500	2,576	3.0	3.0	387	15.5	374	14.5	(13)
ヒューマンヘルスケア事業	2,034	1,964	(3.4)	(3.4)	253	12.5	223	11.3	(31)
ファブリック&ホームケア事業	2,396	2,417	0.9	0.9	511	21.3	469	19.4	(42)
コンシューマープロダクツ事業	8,783	8,895	1.3	1.2	1,155	13.1	1,183	13.3	28
ケミカル事業	2,291	2,357	2.9	2.0	215	9.4	233	9.9	18
小計	11,074	11,252	1.6	1.3	1,370	-	1,416	-	46
セグメント間消去又は調整	(271)	(274)	-	-	8	-	6	-	(2)
合計	10,802	10,978	1.6	1.4	1,378	12.8	1,422	13.0	44

販売実績

(億円、増減率%)

第3四半期累計期間		日本	アジア	米州	欧州	合計
化粧品事業	2017年	1,509	181	42	120	1,852
	2018年	1,514	254	43	128	1,938
	増減率	0.3	40.4	0.8	6.7	4.6
	実質	0.3	38.5	3.0	2.5	4.2
スキンケア・ヘアケア事業	2017年	1,435	216	526	323	2,500
	2018年	1,484	221	541	330	2,576
	増減率	3.4	2.3	2.9	2.1	3.0
	実質	3.4	3.0	5.3	(2.6)	3.0
ヒューマンヘルスケア事業	2017年	1,314	720	0	-	2,034
	2018年	1,259	705	1	-	1,964
	増減率	(4.2)	(2.1)	229.8	-	(3.4)
	実質	(4.2)	(2.1)	242.0	-	(3.4)
ファブリック&ホームケア事業	2017年	2,094	288	15	-	2,396
	2018年	2,095	295	27	0	2,417
	増減率	0.0	2.6	84.7	-	0.9
	実質	0.0	2.5	87.9	-	0.9
コンシューマープロダクツ事業	2017年	6,352	1,404	583	443	8,783
	2018年	6,351	1,474	612	458	8,895
	増減率	(0.0)	5.0	4.9	3.5	1.3
	実質	(0.0)	4.8	7.3	(1.1)	1.2
ケミカル事業	2017年	912	506	394	479	2,291
	2018年	927	514	404	512	2,357
	増減率	1.7	1.5	2.4	7.0	2.9
	実質	1.7	0.4	5.0	1.6	2.0
セグメント間売上高の消去	2017年	(234)	(24)	(1)	(12)	(271)
	2018年	(238)	(23)	(1)	(12)	(274)
売上高	2017年	7,030	1,886	976	910	10,802
	2018年	7,040	1,965	1,015	959	10,978
	増減率	0.1	4.2	3.9	5.4	1.6
	実質	0.1	3.8	6.4	0.4	1.4

注：コンシューマープロダクツ事業は、外部顧客への売上高を記載しており、ケミカル事業では、コンシューマープロダクツ事業に対する売上高を含めています。地域別の売上高は、販売元の所在地に基づき分類しています。

売上高に占める海外に所在する顧客への売上高の割合は、前年同期の37.5%から38.5%となりました。

コンシューマープロダクツ事業

売上高は、前年同期に対して1.3%増の8,895億円（実質1.2%増）となりました。

消費者の価値観の多様化に対応した新製品・改良品の発売や購買行動の変化に合わせたEコマースの強化等、より効果的なマーケティング・販売活動に取り組みました。

日本の売上高は、前年同期に対してほぼ横ばいの6,351億円となりました。

アジアでは、順調に伸長し、売上高は5.0%増の1,474億円（実質4.8%増）となりました。

米州の売上高は、4.9%増の612億円（実質7.3%増）となり、欧州の売上高は、3.5%増の458億円（実質1.1%減）となりました。

営業利益は、1,183億円（対前年同期28億円増）となりました。

当社は、【化粧品事業】、【スキンケア・ヘアケア事業】、【ヒューマンヘルスケア事業】、【ファブリック&ホームケア事業】を総称して、コンシューマープロダクツ事業としています。

【化粧品事業】

売上高は、前年同期に対し4.6%増の1,938億円（実質4.2%増）となりました。

デパートチャネルで展開しているカウンセリング化粧品の「SUQQU」や「RMK」、セルフ化粧品では、低刺激で和漢植物エキスを配合した「フリープラス」、乾燥性敏感肌ケア「キュレル」の売り上げは、好調に推移しました。また、2018年9月に改良した土台美容液「ソフィーナiP」は、多くの消費者に受け入れられ、順調に売り上げを伸ばしています。好調なアジアでは、中国を中心に売り上げは大きく伸長しました。今後も引き続き着実に構造改革を進めながら、2018年5月に発表した新たな成長戦略に沿って化粧品事業を発展させていきます。

営業利益は、好調なブランドやアジア事業の増収効果等により、117億円（対前年同期114億円増）と大きく改善しました。

【スキンケア・ヘアケア事業】

売上高は、前年同期に対し3.0%増の2,576億円（実質3.0%増）となりました。

スキンケア製品では、「ビオレ」が日本、アジアで順調に売り上げを伸ばしましたが、米州では、競合品の激しい攻勢を受けました。ハンド&ボディローションの「ジャーゲنز」は順調に推移しました。

ヘアケア製品では、日本で、革新的な次世代型の白髪ケア「リライズ」ブランドを立ち上げ、好調に推移しています。シャンプー・リンスは、日本や欧州で厳しい競争環境の中、売り上げは前年同期を下回りました。また、2018年1月にヘアサロン向けブランド「Oribe（オリベ）」を所有するOribe Hair Care, LLC（米国）の買収を完了し、連結子会社になりました。

営業利益は、第3四半期で改善しましたが、欧米の構造改革費用を計上したこと等により、374億円（対前年同期13億円減）となりました。

【ヒューマンヘルスケア事業】

売上高は、前年同期に対して3.4%減の1,964億円（実質3.4%減）となりました。

ベビー用紙おむつ「メリーズ」は、競争環境の激化の中で高付加価値化に取り組みましたが、中国では、現地メーカーの攻勢や値下げ圧力等の影響で、売り上げは前年同期に比べて減少しました。一方、インドネシアでは、中間所得層向けの現地生産品が順調に売り上げを伸ばしました。

生理用品「ロリエ」は、日本、中国等で高付加価値品が好調に推移し、売り上げを伸ばしました。大人用紙おむつは、日本で、下着らしさにこだわった超薄型紙パンツの「リリーフ まるで下着」が、順調に伸長しました。

パーソナルヘルス製品の売り上げは、堅調に推移しました。

営業利益は、生理用品等の増収効果がありましたが、原材料価格の上昇や減価償却費の増加等により、223億円（対前年同期31億円減）となりました。

【ファブリック&ホームケア事業】

売上高は、前年同期に対して0.9%増の2,417億円（実質0.9%増）となりました。

ファブリックケア製品は、日本で厳しい競争環境の中、売り上げは、ほぼ前年並みに推移しました。衣料用洗剤「アタック」は、「洗たく水を抗菌水に変える」という価値伝達の強化を図り、柔軟仕上げ剤では改良品を発売して順調に推移しています。

ホームケア製品は、日本では、台所用洗剤や住居用洗剤等で、売り上げは堅調に推移しました。

アジアでは、タイ等で高付加価値品の投入と店頭展開の強化を進め、売り上げは堅調に推移しました。また、海外での業務品事業を強化する目的で、2018年8月にWashing Systems, LLC（米国）の買収を完了し、連結子会社になりました。

営業利益は、石化原料等の価格上昇、有形固定資産の除却損の影響等により、469億円（対前年同期42億円減）となりました。

ケミカル事業

売上高は、前年同期に対して2.9%増の2,357億円（実質2.0%増）となりました。

油脂製品では、海外での需要が堅調なこと等により売り上げは伸長しました。機能材料製品では、インフラ関連分野の市況が回復基調にあることもあり、売り上げを伸ばしました。スペシャルティケミカルズ製品では、トナー・トナーバインダーは顧客の需要減の影響を受けたものの、昨年4月から連結子会社となった欧州のインク事業会社の貢献により売り上げは伸長しました。

営業利益は、海外での油脂製品の伸長と高付加価値化により、233億円（対前年同期18億円増）となりました。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済の減速感が漂う中、競争環境は日本だけでなく海外でもより一層厳しさを増しています。今後も花王グループ中期経営計画「K20」達成のために、成長ドライバーの事業をさらに強化し、課題事業についても立て直しを確実に進め、連結業績予想達成を目指します。2018年7月26日に公表した連結業績予想は変更していません。

連結業績予想に用いた主な為替の換算レートは、110円／米ドル、130円／ユーロ、17円／中国元です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	343,076	211,291	(131,785)
営業債権及びその他の債権	216,507	202,977	(13,530)
棚卸資産	183,921	202,633	18,712
その他の金融資産	14,914	14,888	(26)
未収法人所得税	2,653	3,985	1,332
その他の流動資産	28,162	20,243	(7,919)
小計	789,233	656,017	(133,216)
売却目的で保有する非流動資産	147	-	(147)
流動資産合計	789,380	656,017	(133,363)
非流動資産			
有形固定資産	395,800	416,343	20,543
のれん	138,735	190,580	51,845
無形資産	16,829	34,933	18,104
持分法で会計処理されている投資	7,682	7,922	240
その他の金融資産	27,345	27,902	557
繰延税金資産	40,918	41,083	165
その他の非流動資産	10,686	9,236	(1,450)
非流動資産合計	637,995	727,999	90,004
資産合計	1,427,375	1,384,016	(43,359)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	224,893	211,433	(13,460)
社債及び借入金	25,262	40,415	15,153
その他の金融負債	7,739	4,304	(3,435)
未払法人所得税等	34,255	25,585	(8,670)
引当金	4,822	2,609	(2,213)
契約負債等	17,296	22,085	4,789
その他の流動負債	107,404	99,091	(8,313)
流動負債合計	421,671	405,522	(16,149)
非流動負債			
社債及び借入金	95,322	80,342	(14,980)
その他の金融負債	10,091	9,507	(584)
退職給付に係る負債	64,694	62,668	(2,026)
引当金	10,617	10,632	15
繰延税金負債	435	540	105
その他の非流動負債	5,181	5,342	161
非流動負債合計	186,340	169,031	(17,309)
負債合計	608,011	574,553	(33,458)
資本			
資本金	85,424	85,424	-
資本剰余金	107,980	108,154	174
自己株式	(9,593)	(11,404)	(1,811)
その他の資本の構成要素	(12,315)	(15,343)	(3,028)
利益剰余金	634,885	629,671	(5,214)
親会社の所有者に帰属する持分合計	806,381	796,502	(9,879)
非支配持分	12,983	12,961	(22)
資本合計	819,364	809,463	(9,901)
負債及び資本合計	1,427,375	1,384,016	(43,359)

(2) 要約四半期連結損益計算書

	注記	前第3四半期 連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	増減
		百万円	百万円	百万円
売上高	1	1,080,250	1,097,809	17,559
売上原価		(610,066)	(627,289)	(17,223)
売上総利益		470,184	470,520	336
販売費及び一般管理費	2	(333,841)	(327,255)	6,586
その他の営業収益		10,492	9,856	(636)
その他の営業費用		(9,044)	(10,934)	(1,890)
営業利益	1	137,791	142,187	4,396
金融収益		1,011	1,182	171
金融費用		(3,083)	(3,199)	(116)
持分法による投資利益		1,643	1,723	80
税引前四半期利益		137,362	141,893	4,531
法人所得税		(40,140)	(41,287)	(1,147)
四半期利益		97,222	100,606	3,384
四半期利益の帰属				
親会社の所有者		96,423	99,436	3,013
非支配持分		799	1,170	371
四半期利益		97,222	100,606	3,384
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益 (円)		195.64	202.97	
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		195.50	202.87	

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
四半期利益	97,222	100,606	3,384
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	817	627	(190)
確定給付負債(資産)の純額の再測定	29	(12)	(41)
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	291	(74)	(365)
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,137	541	(596)
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額	4,305	(3,867)	(8,172)
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	(15)	6	21
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	4,290	(3,861)	(8,151)
税引後その他の包括利益	5,427	(3,320)	(8,747)
四半期包括利益	102,649	97,286	(5,363)
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者	101,848	96,550	(5,298)
非支配持分	801	736	(65)
四半期包括利益	102,649	97,286	(5,363)

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2017年1月1日残高	85,424	107,648	(57,124)	911	(29,761)	4	7,025
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	4,290	(1)	1,108
四半期包括利益	-	-	-	-	4,290	(1)	1,108
自己株式の処分	-	-	49,281	(103)	-	-	-
自己株式の取得	-	-	(1,831)	-	-	-	-
株式に基づく報酬取引 配当金	-	249	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	-	-	-	(15)	-	-	(8)
その他	-	-	-	-	-	-	-
所有者との取引等合計	-	249	47,450	(118)	-	-	(8)
2017年9月30日残高	85,424	107,897	(9,674)	793	(25,471)	3	8,125

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	確定給付負債 (資産)の純 額の再測定	合計	利益剰余金			
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2017年1月1日残高	-	(21,821)	565,715	679,842	11,621	691,463
四半期利益	-	-	96,423	96,423	799	97,222
その他の包括利益	28	5,425	-	5,425	2	5,427
四半期包括利益	28	5,425	96,423	101,848	801	102,649
自己株式の処分	-	(103)	(48,885)	293	-	293
自己株式の取得	-	-	-	(1,831)	-	(1,831)
株式に基づく報酬取引 配当金	-	-	-	249	-	249
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	(28)	(51)	51	-	-	-
その他	-	-	-	-	(51)	(51)
所有者との取引等合計	(28)	(154)	(99,099)	(51,554)	(420)	(51,974)
2017年9月30日残高	-	(16,550)	563,039	730,136	12,002	742,138

当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2018年1月1日残高	85,424	107,980	(9,593)	731	(21,540)	4	8,490
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	(3,423)	(4)	553
四半期包括利益	-	-	-	-	(3,423)	(4)	553
自己株式の処分	-	(99)	48,216	(93)	-	-	-
自己株式の取得	-	-	(50,027)	-	-	-	-
株式に基づく報酬取引 配当金	-	273	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	-	-	-	(18)	-	-	(43)
その他	-	-	-	-	-	-	-
所有者との取引等合計	-	174	(1,811)	(111)	-	-	(43)
2018年9月30日残高	85,424	108,154	(11,404)	620	(24,963)	0	9,000

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	確定給付負債 (資産)の純 額の再測定	合計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2018年1月1日残高	-	(12,315)	634,885	806,381	12,983	819,364
四半期利益	-	-	99,436	99,436	1,170	100,606
その他の包括利益	(12)	(2,886)	-	(2,886)	(434)	(3,320)
四半期包括利益	(12)	(2,886)	99,436	96,550	736	97,286
自己株式の処分	-	(93)	(47,906)	118	-	118
自己株式の取得	-	-	-	(50,027)	-	(50,027)
株式に基づく報酬取引 配当金	-	-	-	273	-	273
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	12	(49)	49	-	-	-
その他	-	-	-	-	(12)	(12)
所有者との取引等合計	12	(142)	(104,650)	(106,429)	(758)	(107,187)
2018年9月30日残高	-	(15,343)	629,671	796,502	12,961	809,463

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	137,362	141,893
減価償却費及び償却費	40,275	44,592
受取利息及び受取配当金	(903)	(1,080)
支払利息	917	895
持分法による投資損益(益)	(1,643)	(1,723)
有形固定資産及び無形資産除売却損益(益)	1,991	2,850
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	14,886	12,696
棚卸資産の増減額(増加)	(15,595)	(17,866)
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	6,219	(8,067)
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(217)	(1,715)
その他	(22,501)	(2,379)
小計	160,791	170,096
利息の受取額	778	926
配当金の受取額	1,945	2,189
利息の支払額	(851)	(813)
法人所得税等の支払額	(53,041)	(50,614)
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,622	121,784
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	(19,196)	(21,760)
定期預金の払戻による収入	18,575	22,618
有形固定資産の取得による支出	(62,207)	(65,145)
無形資産の取得による支出	(3,394)	(4,528)
企業結合による支出	(2,906)	(73,819)
その他	(323)	468
投資活動によるキャッシュ・フロー	(69,451)	(142,166)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(減少)	(59)	148
長期借入による収入	30,000	-
長期借入金の返済による支出	(30,072)	(49)
社債の発行による収入	-	25,060
社債の償還による支出	-	(24,939)
自己株式の取得による支出	(1,831)	(50,028)
支払配当金	(49,782)	(56,307)
非支配持分への支払配当金	(369)	(745)
その他	(377)	(1,082)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(52,490)	(107,942)
現金及び現金同等物の増減額(減少)	(12,319)	(128,324)
現金及び現金同等物の期首残高	303,026	343,076
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	1,723	(3,461)
現金及び現金同等物の四半期末残高	292,430	211,291

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。なお、取締役会は、売上高及び営業利益を主要な指標として、各セグメントの業績評価を行っております。

当社グループは、コンシューマープロダクツ事業部門を構成する4つの事業分野（化粧品事業、スキンケア・ヘアケア事業、ヒューマンヘルスケア事業、ファブリック&ホームケア事業）及びケミカル事業部門の5つの事業を基本にして組織が構成されており、各事業単位で、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、「化粧品事業」、「スキンケア・ヘアケア事業」、「ヒューマンヘルスケア事業」、「ファブリック&ホームケア事業」及び「ケミカル事業」の5つを報告セグメントとしております。

当社グループは、2018年1月1日付の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来「ビューティケア事業」、「ヒューマンヘルスケア事業」、「ファブリック&ホームケア事業」及び「ケミカル事業」の4区分としていた報告セグメントを、「化粧品事業」、「スキンケア・ヘアケア事業」、「ヒューマンヘルスケア事業」、「ファブリック&ホームケア事業」及び「ケミカル事業」の5区分に変更しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報 告 セ グ メ ン ト		主 要 製 品	
コンシューマー プロダクツ事業	化粧品事業	化粧品	カウンセリング化粧品、セルフ化粧品
	スキンケア・ヘアケア事業	スキンケア製品	化粧石けん、洗顔料、全身洗剤
		ヘアケア製品	シャンプー、リンス、ヘアスタイリング剤、ヘアカラー、メンズプロダクツ
	ヒューマンヘルスケア事業	フード&ビバレッジ製品	飲料
		サニタリー製品	生理用品、紙おむつ
パーソナルヘルス製品		入浴剤、歯みがき・歯ブラシ、温熱用品	
ファブリック&ホームケア事業	ファブリックケア製品	衣料用洗剤、洗濯仕上げ剤	
	ホームケア製品	台所用洗剤、住居用洗剤、掃除用紙製品、業務用製品	
ケミカル事業	油脂製品	油脂アルコール、油脂アミン、脂肪酸、グリセリン、業務用食用油脂	
	機能材料製品	界面活性剤、プラスチック用添加剤、コンクリート用高性能減水剤	
	スペシャルティケミカルズ製品	トナー・トナーバインダー、インクジェットプリンターインク用色材、香料	

(2) 報告セグメントの売上高及び業績

前第3四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	化粧品 事業	スキンケア・ ヘアケア 事業	ヒューマン ヘルスケア 事業	ファブリック &ホームケア 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	185,211	250,003	203,444	239,627	878,285	201,965	1,080,250	-	1,080,250
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	-	-	-	-	-	27,147	27,147	(27,147)	-
売上高合計	<u>185,211</u>	<u>250,003</u>	<u>203,444</u>	<u>239,627</u>	<u>878,285</u>	<u>229,112</u>	<u>1,107,397</u>	<u>(27,147)</u>	<u>1,080,250</u>
営業利益	296	38,701	25,348	51,129	115,474	21,548	137,022	769	137,791
金融収益									1,011
金融費用									(3,083)
持分法による投資利益									1,643
税引前四半期利益									<u>137,362</u>

(注1) 営業利益の調整額769百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	化粧品 事業	スキンケア・ ヘアケア 事業	ヒューマン ヘルスケア 事業	ファブリック &ホームケア 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	193,807	257,555	196,442	241,737	889,541	208,268	1,097,809	-	1,097,809
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	-	-	-	-	-	27,400	27,400	(27,400)	-
売上高合計	<u>193,807</u>	<u>257,555</u>	<u>196,442</u>	<u>241,737</u>	<u>889,541</u>	<u>235,668</u>	<u>1,125,209</u>	<u>(27,400)</u>	<u>1,097,809</u>
営業利益	11,718	37,359	22,282	46,931	118,290	23,317	141,607	580	142,187
金融収益									1,182
金融費用									(3,199)
持分法による投資利益									1,723
税引前四半期利益									<u>141,893</u>

(注1) 営業利益の調整額580百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
	百万円	百万円
広告宣伝費	64,907	58,376
販売促進費	42,502	38,637
従業員給付費用	110,081	111,644
減価償却費	6,656	6,845
償却費	3,533	4,792
研究開発費	42,550	43,076
その他	63,612	63,885
合計	333,841	327,255

(7) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の特定子会社であった花王カスタマーマーケティング(株)は、2018年1月1日付で実施した花王グループカスタマーマーケティング(株)を存続会社とする吸収合併により消滅会社となりました。そのため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(8) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。